

特集

雄大な自然景観と民間のノウハウを活かして

「中瀬草原キャンプ場」 リニューアルオープン

玄界灘の大海原を望み

夜は漁火と満天の星空が広がり

朝は野鳥のさえずりが聞こえる中瀬草原。

豊かな自然に囲まれて

心も体も癒される。

中瀬草原キャンプ場が

4月4日(土)に新しくなって

オープンします。

中瀬草原キャンプ場マップ

展望サイト
VIEW SITE



玄界灘を一望しながら、ゆっくりとした時間を過ごすことができます。来訪者順にテントを張っていただきます。

デイキャンプサイト
DAY CAMP SITE



デイキャンプとは、日帰りのキャンプのこと。道具も少なく済み、初心者でも気軽に楽しむことができます。

展望サイトC
34サイト

東屋

デイキャンプサイト
10組

展望サイトB
6サイト

林間サイト
10サイト

オートサイト
AUTO SITE



車を横付けでき、荷物を移動させる手間が省けるので、気軽にキャンプを楽しみたい人におすすめです。

展望サイトA
22サイト

フリーサイト
25サイト

- トイレ
- 炊事場
- シャワー
- ゴミ捨て場
- 協同調理室



(右) 中瀬草原の北部から、柱状節理の断崖を見ることができます。
(左) NPO島原半島ヤギ・羊ECOプロジェクト協議会で飼育されているヒツジとヤギが放牧されます。触れ合い体験だけでなく、毛刈り体験なども実施予定です。



夕日が沈む中瀬草原キャンプ場

楽しみ方は無限大

新しくなった中瀬草原キャンプ場

リニューアル後は展望サイト、オートサイト、デイキャンプサイトなどに区分けされます。キャンプのスタイルや楽しみ方に合わせて利用できるようになりました。

広大な草原が広がる都市公園

田平町にある中瀬草原キャンプ場は、広さ約8.7ヘクタールの広大な草原が広がり、目の前に玄界灘を望む都市公園です。年間3千人から5千人がキャンプやレジャーなどで訪れていたことから、より満足度の高いキャンプ場にするのが求められていました。

民間のノウハウを活用

キャンプ場のリニューアルには、民間のノウハウを取り入れるためにPark PFI事業が活用されています。

この事業は、飲食店、売店などの

利用者の利便性の向上につながる施設の設置とその施設から生じる収益を活用して、周辺の園路や広場などの整備を一体的に行う事業者を自治体が公募選定し、民間資金を投入することで、都市公園の質や利便性の向上を図る新たな整備・管理手法です。

市では、平成31年4月に管理事業者を公募し、日本工営・星野建設グループの提案を採用。8月に日本工営と星野建設グループで作る株式会社中瀬草原キャンプ場と基本協定を締結しました。

楽しみ方は人それぞれ

新しくなったキャンプ場では、

キャンプのスタイルや楽しみ方に合わせて利用できるように、いくつかのサイトに区分けされています。玄界灘を一望しながらキャンプを楽しめる展望サイトや車を横付けして気軽にキャンプができるオートサイト、日帰りでキャンプを楽しみたい人が利用できるデイキャンプサイトなどに分かれています。

他にも、自然観察を楽しめるふくろうの森ゾーンや子どもたちが伸び伸びと走りまわれる芝遊びゾーンもあります。キャンプだけでなく、周辺に自生する野草の採集・調理体験やフクロウの幼鳥の観察会、ヒツジやヤギなどの動物とのふれあい体験といった周辺の自然を生かした体験メニューも行われる予定です。



令和元年8月30日に行われた「中瀬草原整備・運営管理事業基本協定書調印式」。協定書を持つ黒田市長(左)と白石社長(右)。

新たな管理事業者に聞いたリニューアルへの想い



(株)中瀬草原キャンプ場
代表取締役 白石 悦二さん

また、素晴らしい景観を楽しめるように、あえて中瀬草原の地形はそのまま活かしています。傾斜があるため、テントを張るのに少し工夫が必要ですが、何にも遮

あえて地形をそのまま残し
素晴らしい景色を多くの人に伝え
地域の皆さんの集える場に

私はもともとキャンプが趣味で、中瀬草原は家族を連れて何度も利用したことがあります。これまで色々なキャンプ場を利用してきましたが、中瀬草原の景観は特に素晴らしく、この景色だけでも来る価値があると感じていました。しかし、トイレや炊事場などの既存の施設は老朽化が進んでおり、草原も草が伸びた状態であったため、どうにかできないかと考えていました。そんな時に、平戸市がPark PFI事業を活用して、整備・管理運営を行う事業者を公募していることを知り手を挙げました。

リニューアルにあたり、草原の草刈りはもちろん、受付やカフェ、調理室、ランドリーなどが入った管理棟を新たに建設しました。炊事場やトイレは市が補修し、利用する人が気持ちよく使えるようになりました。

また、素晴らしい景観を楽しめるように、あえて中瀬草原の地形はそのまま活かしています。傾斜があるため、テントを張るのに少し工夫が必要ですが、何にも遮られずに、目の前に広がる海と空を見ながらのキャンプは格別です。

キャンプ場からの利用者の出入りは自由なので、キャンプ場を拠点にして周辺の市場やスーパー、温浴施設、観光施設など、市内を回ることもできるよう、関係団体と連携していきたいと思っています。

最後に、キャンプ場はキャンプをしない人でも利用できます。管理棟のカフェで目の前に広がる海を見ながらゆっくりしたり、体験メニューに参加したり、羊やヤギのお世話をしに来るだけでも大歓迎です。地域の人が気軽に立ち寄り、集まれる場所として、また皆さんの地域活動の場として活用してほしいです。焚き火や読書、ペットとの触れ合い、アウトドアアクッキングなど、思い思いの趣味を楽しみませんか。



展望サイトから景観

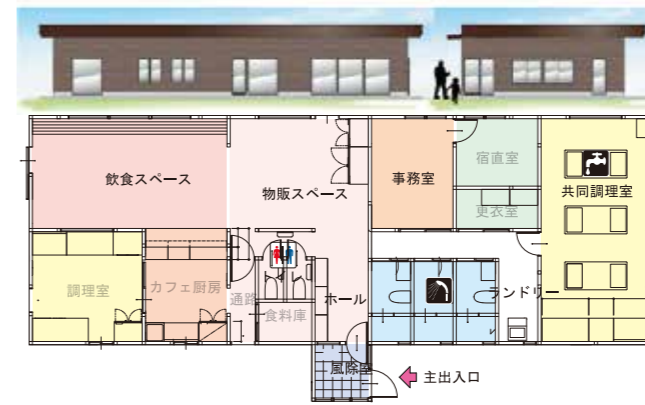
キャンプ初心者でも気軽に楽しめる



草原と海を見渡せる高台に新たに管理棟を新設。

管理棟では、キャンプ用品のレンタルや食材などが販売されるほか、カフェや調理室などが併設され、さまざまなサービスを受けることができます。

初心者にも上級者にも優しい
物販スペースでは、大手アウトド



リニューアルにあたり、新たに管理棟が建設されました。管理棟は駐車場を上がってすぐの場所にあり、海を一望できる大きな窓を設置したカフェスペースが併設されています。実際にはスギの1枚板のカウンタートーブルが設置され、海を眺めながら過ごすことができます。カフェのみの利用もできます。

管理棟を新設

本格的なキャンプ道具をレンタル

大手アウトドアメーカー「スノーピーク」と提携し、管理棟では同社のキャンプ用品の販売・レンタルが行われます。

テントやタープ、焚火台、ローチェアなどをレンタルできるほか、キャンプに必要な道具一式のレンタルもできるので、キャンプ初心者でも、一流メーカーの道具で気軽にキャンプを楽しむことができます。



アメリカのスノーピークと提携し、キャンプ用品の販売・レンタルが行われるほか、地元産の肉や野菜、地酒の販売も行われます。

また、オーブンを設置した調理室、シャワー、ランドリーを有料で利用することができます。初心者はもちろん、連泊するような上級者でも快適に過ごすことができる設備が揃っています。



管理棟のカフェからの眺め

中瀬草原キャンプ場の利用予約受付中!

☎ 中瀬草原キャンプ場 ☎090-5772-9101 (担当: 白石)

中瀬草原キャンプ場の各サイトの利用は、予約が必要です。中瀬草原キャンプ場のホームページより申し込んでください。各サイトの予約受付には上限がありますので、早めの予約をおすすめします。予約は2カ月前までとなっています。各サイトの利用料金やレンタル料金などもホームページから確認できます。

また、フェイスブックやインスタグラムでも随時情報

を発信しています。

○中瀬草原キャンプ場HP <https://nakazekamp.com/>

※「kamp」とはオランダ語でキャンプのこと。平戸市がオランダと深いつながりがあることから、英語の「camp」ではなく「kamp」としています。

予約はコチラ

